

季刊

# AMDA 多様性の共存 Journal

2008年11月1日 VOL.31No.4 定価600円  
発行/AMDA 〒701-1202 岡山市横津310-1  
TEL 086-284-7730 FAX 086-284-8959  
E-mail:member@amda.or.jp

2008.11  
AUTUMN

秋

## 国民参加型相互扶助人道支援外交

緊急救援センター

救える命があればどこへでも

### ネパール・インド洪水緊急医療支援活動

8月中旬から続いたモンスーンの影響で、インド・ネパールの国境地域で河川が氾濫し、8月18日にコシ川のダムが決壊。インドのビハール州とネパールのスンサリ郡・サブタリ郡で大洪水が発生しました。インド政府の発表によると、ビハール州では9月17日までに死者が208人、100万人以上が現在も避難しています。ネパールでも政府発表によると7万人が被災しました。

特定非営利活動法人アムダ (AMDA)  
<http://www.amda.or.jp/>  
特定非営利活動法人AMDA 社会開発機構  
<http://www.amda-minds.org/>  
特定非営利活動法人AMDA 国際医療情報センター  
<http://homepage3.nifty.com/amdack/>

#### インド・ビハール州での緊急医療支援活動

AMDAは9月8日から9月21日までの2週間、ビハール州に緊急医療支援チームを派遣し、アラリア県とスパウル県の避難所16カ所での巡回診療とアラリア県のプライマリーヘルスセンター (PHC)での診療を行いました。



カタハラキャンプでの巡回診療 (インド・ビハール州アラリア県)

AMDA本部から藤本明子調整員、AMDA ネパール支部の医師2人、AMDAインド支部/マニパール大学の医師5人・看護師1人・薬剤師1人の合計10人でチームを編成しました。診療人数は、PHCで311人、巡回診療で2,267人。主な症状は、皮膚疾患、下痢、耳の感染症、呼吸器感染症、心理的不安(うつ)でした。ビハール州是最貧州であり、多くの患者が初めて医師の診療を受けました。AMDAネパール支部から派遣されたラジェンドラ医師は活動を終えて、「ビハール州で過ごした10日間、人々を癒し、患者と気持ちを分かち合った。大変痛ましい人生がそこにあった」と語っています。



多くの避難民が診察を希望 (インド・ビハール州アラリア県)

#### ネパール・スンサリ郡、カイラリ郡での緊急医療支援活動



AMDA ネパール支部は避難キャンプの保健医療を担当、巡回診療も実施 (ネパール・スンサリ郡)

AMDAネパール支部は8月21日から9月16日まで、スンサリ郡から150km離れたジャパ郡にあるAMDA病院から、医師・緊急救命士・調整員など合計36人を交替で派遣しました。3,500人が生活する避難キャンプに仮設診療所を開設して、1,813人の患者を診療しました。15歳以下が約44%を占め、主な症例は、外傷の他、関節・脚の痛み、感冒、急性咽頭炎、気管支炎、肺炎、下痢でした。

8月25日にはラム・バラン・ヤダブ大統領が、避難所内のAMDA 仮設診療所を訪れ、「AMDAの緊急医療支援活動に感謝する」と述べられました。

また、9月19日に降雨による洪水と地滑りが、同国中部・最西部で発生しました。26日から10月1日まで、AMDAネパール支部はネパール子ども病院から、被害が甚大だったカイラリ県に緊急医療チームを派遣し、同県中心部から車で3時間の僻地で診療活動を行いました。



AMDA仮設診療所を訪れた、ラム・バラン・ヤダブ大統領 (ネパール・スンサリ郡)

AMDA 各国支部や協力機関との連携強化

インド

8月17日から1ヵ月間、岡山大学疫学・衛生学教室とAMDAの連携のもとに、インド・カルナタカ州マニパール大学アユルベダー医学教室のカマト教授（AMDAインド支部長）が、セラピスト2人と共に岡山大学病院三朝医療センターにてアユルベダー医学の臨床的アプローチと講義を行いました。

9月21日には本部職員がインド・ニューデリーのWHO南東アジア地域事務所を訪問し、南アジア地域協力連合諸国における緊急救援活動に関する会議(2009年開催予定、主催AMDA他)への協力を依頼しました。9月23日にはマニパール大学を訪問し、ビハール州洪水に対する緊急医療支援活動への協力に感謝の意を表すとともに、同会議に向けた構想を協議しました。

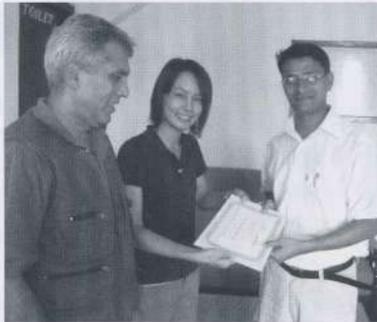
マニパール大学の学長ラムダス・バイ氏（前列左から4番目）。→前列右端と後列は同大学から洪水の緊急救援へ派遣された医師たち

学生や職員に講義するカマト教授（岡山大学病院三朝医療センター）



ネパール

9月26～28日に本部職員がAMDAネパール支部を訪問し、ネパール洪水の緊急救援活動についてレグミ支部長と協議しました。今後は同国西部での活動を強化し、ネパール全国に緊急医療チームを派遣できる体制を整えることが確認されました。



左からレグミ支部長、藤本明子本部職員、インド洪水の救援に参加したラジェンドラ医師

ミャンマー

9月8日、菅波代表が岡山市内で駐日ミャンマー連邦ラー・ミン特命全権大使と面会しました。

菅波代表は、5～6月にAMDAが実施したサイクロン被害に対する緊急支援活動への協力のお礼を述べました。



ラー・ミン特命全権大使（左）と菅波代表

中国

四川省地震（5月12日発生）の復興支援として、福山市日中青年交流協会笹山徳治理事長を通じ、8月23～27日に四川省綿陽市で健康診断を実施し25人を診察しました。9月1～8日には本部調整員を被災地に派遣し、血圧計と血糖値測定器各170式を12の病院・診療所に提供しました。



9月撮影 四川省攀枝花市（はんしかし）

日本

9月24日、菅波代表が総本山金剛峰寺松長有慶管長を表敬訪問し、世界平和に貢献する役割について面談しました。その後、森寛勝財務部長と、将来の相互協力について意見交換しました。



松長有慶管長（左）と菅波代表

バングラデシュ

9月6日、AMDAバングラデシュ支部のナイーム支部長がAMDA本部を訪問しました。僻地の村人が医療情報入手できる「地域ラジオ放送」を計画しており、ラジオ機材の資金確保が課題となっています。

## 平成 20 年度静岡県総合防災訓練（広域医療搬送訓練）

9月1日、「防災の日」は、AMDAにとって静岡県総合防災訓練に参加する日です。

東海大地震を想定し、今年は、県下33市町で、45万人が参加した大規模な防災訓練です。AMDAは、1990年代の後半からほぼ毎年のように、岡山から、そしてERネットワーク登録の医療職の方々が住む全国から、静岡に駆けつけます。今年は、静岡市から20キロほど西にある航空自衛隊静浜基地で、広域医療搬送訓練に参加しました。

広域医療搬送訓練とは、大災害により被災地内に溢れている重症患者を、被災地外にある医療資源が充実し、専門的な治療が行える医療機関に、自衛隊の輸送機などを使って搬送する訓練です。AMDAは、自衛隊基地内に設置された広域医療搬送拠点で、DMAT（災害派遣医療チーム）などと共に、搬送されてきた重症患者を受け入れ、安定化処置を行い、患者をヘリに乗せるまでの治療班としての役割を担いました。

「これほど大規模な防災・広域医療搬送訓練に参加できることもあまりないと思うし、他県のDMATの方々も活動できたことは、いい経験になった（田中看護師）」、「普段病院勤務ではお会いできない、同じ志を持った方たちと出会えるこういう機会は私にとって貴重（山田看護師）」「他者への啓蒙、訓練の質の向上は図りたい。今回の訓練を勤



務する病院でも活かしていきたい（細村医師）」と、参加した医療従事者の皆さまからも、とても刺激になった旨のコメントを寄せていただきました。

### <参加者>

- 細村幹夫医師（埼玉県・越谷誠和病院 / ERネットワーク登録）  
 田中桂看護師（滋賀県・ERネットワーク登録）  
 山田裕子看護師（神奈川県・洛西ニュータウン病院 / ERネットワーク登録）  
 奥谷充代（AMDA本部職員）  
 谷口敬一郎（AMDA本部職員）

来年以降も訓練参加を続けていきたいと考えています。ERネットワーク登録の皆さま、ご参加お待ちしております。

### 2008年7～9月の動き

#### <講演>

7/3	「小さな親切」運動岡山県本部 平成20年年次総会
7/8	岡山理科大学付属中学・高校
7/18	第12回日本渡航医学会
7/31	岡山市内医師会連合会「災害救急医療研修会」
8/6	世界連邦岡山県協議会総会及び岡山県大会
8/19	medika osaka
8/21	美咲町教育研究会・久米南町教育会夏期教育講演会
9/4	おかやまコープ理事学習会
9/5	第32回国際キワニス日本地区年次総会高松大会
9/5	玉野市赤十字奉仕団研修会
9/6	「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える」第七回講演会
9/14	平成20年度岡山県医師会臨床研修会指導医養成講習会（岡山会場）
9/27	第20回毎日国際交流賞・記念シンポジウム
9/28	旧大國家住宅公開記念講演
9/28	浅口市歌謡連盟AMDAチャリティ歌謡祭

#### <講義>

7/12-19-26-31	8/1 神戸女子大学文学部神戸国際教養学科「国際ボランティア活動論」集中講義
8/31	岡山県立大学大学院保健福祉学研究所「災害医療援助特論」災害セミナー<公開講座>
9/6・8	同上 集中講義

#### <本部訪問>

7/11	岡山中学校
7/14	岡山市立岡山中央中学校
8/22	おかやまコープ わくわくAMDA訪問

#### <セミナー・イベント>

9/18	アスカグループ「ボランティア感謝の集い」
9/28	第22回「かななべ福祉まつり」

### 緊急救援活動への参加を 希望される方の登録制度

#### AMDA「ERネットワーク」のご案内

AMDAは自然災害、紛争等による被災者（難民）に対応するため、緊急救援活動を実施してきました。より迅速な初動体制を確立するため、登録制度「ERネットワーク日本」を整備しています。緊急救援活動派遣を希望される方（医師・看護師・助産師 他）は、「ERネットワーク」にご登録ください。資料をご希望の方はご連絡ください。

なお、ご登録者には緊急救援活動の際にお声をかけさせていただきますが、登録により活動参加義務が発生することはありません。

登録に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 アムダ

〒701-1202 岡山市橋津310-1

TEL: 086-284-7730 FAX: 086-284-8959

E-mail member@amda.or.jp

行って来ました～AMDA-MINDS ザンビアスタディツアー～

9月13日から21日の日程でザンビアスタディツアーを行ない、医師や会社員、学生などさまざまなバックグラウンドを持つ12人の方にご参加いただきました。見学先ではそれぞれ熱心に質問され、予定時間をオーバーすることもしばしばでした。※詳しい報告は<http://www.amda-mimds.org/>をご覧ください。

主な見学先：リビングストーン国立公園 / 地方給水維持管理能力強化プロジェクト (JICA)  
 ザンビア大学教育病院 / AMDA コミュニティーセンター /  
 カニャマ地区 (都市スラム) の結核・エイズ統合治療支援事業+ウォーキングツアー /  
 開発ファイナンス試験事業 など



AMDA コミュニティーセンター農園にて

リビングストーン国立公園

スタッフとの懇談会

車両故障のためトラック乗車

ー参加者のアンケートからー

■最も印象に残ったこと

\*コンパウンド (都市スラム) に暮らす方々の生活を実感できる大変貴重な機会であったと感じています。サポーターの方々と共に回ることでさまざまな質問にも具体的に回答していただき、この点において大変有意義であったと感じています。

ザンビア人の穏やかさや子どもたちの笑顔が印象に残った方も多かったようです。

\*コミュニティーセンターの服ができて上がるのが楽しみ。コミュニティーセンターの子どもたちと会いたかった。あの教室に100人、ノートや鉛筆も不足していることなどにいろいろ考えさせられた。

コミュニティーセンターでは多くの方に、チテンゲという生地で作るスカートやブラウスをご注文いただきました。チテンゲについて紹介した現地スタッフの記事がありますのでご覧ください。

<http://www.amda-minds.org/information/tbindex.html>

■AMDA-MINDSのプロジェクトに関してのご意見

\*保健センターではAMDAのサポーターが重要な役割を果たしていることがよくわかり、募金がいかにされていることがよくわかりました。

\*教育センターで、洋裁教室のミシンがこわれて使えないものが放置されていること、コンピュータ訓練室の2台ともコンピュータが壊れて使えない状態であったりすることへの一日も早いサポートが必要だと思いますので、そうした細かいところまでのリサーチやサポートを…。もっとこうした実態を知り、知らせることもしていけたらどうでしょうか？

結核とエイズの治療・予防プロジェクトにおいて、多くのAMDAの結核・エイズ治療サポーター (保健ボランティア) たちが「仲間を助けたい」というその気持ちから毎日無償の奉仕活動を行っています。

またAMDAザンビアでは、コミュニティーセンターの自立を目指す途上にあります。明確な成果を達成することも重要である一方、外部の支援に依存することにより、自主性と自立発展性が阻害される可能性にも配慮しながら、慎重に行動していきたいと考えております。

今回は、長距離の移動の疲れやハードスケジュールなどから体調を崩される方が多く、ご自身、そして治療に当たってくださった参加者の方が、活動を十分に見ることができないということがありました。また、予定の変更などについて、対応に改善の余地があるのではないかとご意見もいただきました。事務局では、みなさんのご提案を受け、そのような事態にもより柔軟に対応できるよう改善を図っていきます。

AMDA社会開発機構では、来春もスタディツアーの実施を検討しています (実施事業国未定)。決定次第本誌及びホームページでお知らせいたします。

最後に、もうひとつスタディツアー参加者の感想をご紹介します。

\*ザンビアのゆったりとした時の流れと、ザンビア人の笑顔 (特に子どもたち) と人情が最も印象に残りました。ザンビアに来る前はHIVや貧困等のわずかなイメージしか、もっていなかったけれど、今回実際にザンビアの方たちと接して、共感し合える点や、ザンビアの方が日本より幸せであると思う点も、多々ありました。ザンビア人や、その抱える問題をすごく身近に感じるようになりました。

## チャリティコンサートによるご支援



### 9月7日 愛の村チャリティ コンサート

岡山県美作市 美作文化センターにて  
主催：愛の村コンサートプランニング

音楽を媒体に「愛と平和を希求する県民づくり」「中山間地域の活性化」の一端を担いたいと、2007年5月、岡山県美作市旧東粟倉で第1回「愛の村音楽祭」を開催。同9月、新潟中越沖地震の報に、チャリティコンサートを思い立ち実施。今年も国内外問わず被災者に笑顔が戻ることを願って、二つのコンサートと募金活動を実施。一人は微力でも大勢が結集すれば役立つ力となることを実感。出会った様々な方の熱い気持ちは次回に向けての勇気をくれました。

愛の村コンサートプランニング  
代表者 水元正喜



### 9月21日 AMDA 鎌倉クラブ チャリティコンサートX — 一日中友好音楽交流の集い — — 四川大地震災害支援 — 主催：AMDA 鎌倉クラブ

邦楽をベースに中国伝統音楽・洋楽・詩吟など音楽における多様性の共存を実現しているこのコンサートも10回目を迎えました。今年、例年のホンジュラス支援に加え、5月に発生した四川地震への支援を掲げ鎌倉芸術館小ホールにて盛大に開催されました。被災地の方々への皆の思いが届き、そして復興が順調にすすむことを願っています。

AMDA 鎌倉クラブ 根津章伶



### 9月23日 AMDA 支援チャリティ コンサート — アフリカ・中国四川支援 — 岡山ドーム・フリーマーケット会場にて 主催：beZen 鼓空

経済や環境の問題を考える時、先進国と発展途上国と言われる国々の間に、あまりに不平等感を感じます。エネルギー問題、食料問題、あらゆる環境問題。アフリカの飢餓、貧困、エイズの問題も極めて人災の要素が多い。今回チャリティコンサートを開かせていただいたのは、同じ地球の中、先進国に住む人間としての、ほんの僅かなお詫びの気持ちからかもしれません。出演協力：ア・ラ・カルト、EG シーズ、富山天領太鼓、風の楽団 Viento  
beZen 鼓空 代表者 乙倉 俊

## AMDA ホームページがリニューアルしました

AMDAのホームページがリニューアルしました。新しい機能も付き、パワーアップ。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.amda.or.jp>

### 【主な追加機能】

1. サイト内検索に対応
2. 動画の掲載

トップページとAMDAビデオギャラリーで、被災地での活動をご覧いただけます。

3. 携帯サイトの設置

携帯電話からも閲覧ができます。ただし、動画は閲覧できません。

4. 写真の投稿

AMDAホームページから、写真の投稿をしていただけるようになりました。皆さまからの投稿をお待ちしています。

5. オンラインクレジットの寄付

ネット上で、AJ・AMDAカードによる寄付ができるようになりました。情報は暗号化されて送信されます。

6. 文字サイズの拡大 これまでより文字サイズを大きくし、読みやすくしました。

\* RSS、RSSリーダー、ソーシャルブックマーク、トラックバック、パンくずリストなど、役立つ便利な機能も搭載しています。

写真の投稿  
募集中!

